

令和2年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書

- I スポーツ及びオリンピック、パラリンピックの意義や歴史に関する学び
 - II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
 - III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
 - IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
 - V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都市 】

学校名【 京都市立東山泉小中学校 】

1 実践テーマ	I ・ III ・ IV ・ V
2 実施対象者 (学年・人数)	第9学年（70名）、第7学年（85名）
3 展開の形式	(1) 学校における活動 ① 教科名（音楽・保健体育） ② 行事名（ ） ③ その他（特別活動） (2) 地域における活動 ① イベント名（ ） ② その他（ ）
4 目標 (ねらい)	・児童生徒が多様な違いを理解しながら、主体的に社会参画していかうとする態度を育てる。 ・児童生徒がオリンピック・パラリンピック教育を通じて、スポーツの価値に気づくことができる。
5 取組内容	○企業がどのようにスポーツに関わり、その活動を通して、どのように社会に貢献しているのか。スポーツの価値について考えるリモート講演会。（9年生） ・講演者：サンフレッチェ広島 代表取締役社長 仙田信吾氏 ・内容：「サッカーを通じた広島との関わり」 広島のまちづくりや復興への関わり、サッカーをはじめスポーツの持つ力についてご講演いただきました。 新型コロナウイルス感染症対策としてオンラインでの講演会となったが、プレゼンテーション資料や動画を活用しながらご講演いただくことで児童生徒にとって、わかりやすく臨場感のある講演会となった。 ○伝統文化の体験を通して、世界の人をお迎えする態度を育てる。 音 楽：雅楽体験（9年生） 特別活動：華道体験（9年生）



	○7 年生人権学習…ユニバーサルな社会を築いていくための知識を身に付け、車いすの実体験を行う。 12月13日（水） 講師：京都UPS 山本英嗣様、東武士様 元パラリンピック車いすバスケットボール日本代表コーチ 坂野晴男様 ① 選手紹介，デモンストレーション…車いすバスケットボールの特性等 ② 車いす体験…前進後進リレー，5vs5 クラス対抗試合 ③ 選手体験談，質疑応答…病气やけがの経緯。車いすバスケットとの出会い
6 主な成果	・オンライン講演会では，企業の社長からご講演いただくことにより，企業がどのようにスポーツの価値について考えているかをわかりやすく理解することができた。 ・華道体験や雅楽体験では，伝統文化に触れることでよりその魅力を感じることができ，自身の言葉として良さを表現することができた。 ・車いす体験では，実際に体験し，お話を聞くことにより，今後どのような社会を自分たちの作っていかねばいけないのかについて考えることができた。 ー以下児童生徒の振り返りよりー 「普段、このようなお話を聞くことはあまりないので、とても貴重な経験になりました。コロナの影響で、Jリーグの開幕が延期された時、サンフレッチェ広島のみなさんができることを探して、様々な工夫を凝らして活動されていたということを知り、自分たちも、今、自分にできることを探して、この状況を乗り切っていかなければいけないと思いました。」 「伝統文化であることは理解し，魅力があるだろうと予想していたけれども，実際に体験することで，自分自身が語れる魅力を見つけることができた」
7 実践において工夫した点（事業の特色）	・職員会議で，オリンピックパラリンピック教育についての共通理解を図った。オリンピックパラリンピック教育は，数年前から本校で取り組んでいるので，取組概要についてイメージの共通理解がしやすかった。 ・サンフレッチェ広島の代表取締役社長の講演会では，これまでの学習の中で，スポーツの価値については学んできており，自分が感じている価値だけでなく，企業がどのように関わり，考えているのかという新たな視点で臨んだ。多くの児童生徒が知っている企業にご講演いただくことで，話の内容が想像しやすく，その結果スポーツの価値を考えやすくなった。
8 主な課題等	車いすバスケットボールの実施には，運搬費も含め予算面の工夫，日程の調整が必要。
9 来年度以降の実施予定	来年度も継続して実施していく予定である。